【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】平成30年12月20日(2018.12.20)

【公開番号】特開2017-89812(P2017-89812A)
【公開日】平成29年5月25日(2017.5.25)
【年通号数】公開・登録公報2017-019
【出願番号】特願2015-222680(P2015-222680)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｍ　11/32　(2006.01)
Ｇ０１Ｃ　15/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｍ　11/32　Ｂ
Ｇ０１Ｃ　15/00　１０５Ｒ

【手続補正書】
【提出日】平成30年11月8日(2018.11.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
脚部と、
軸方向に所定ピッチで穴部が設けられ、軸方向に沿って上方又は下方に移動して前記脚部から上方に突出する位置で機器を保持する保持部と、
歯車を有し、前記歯車の回転により、前記歯車の歯先が前記穴部に順次噛合することにより、前記保持部を上方又は下方に送り移動させる移動手段とを備え、
前記保持部は、第１軸部と、前記第１軸部の内径よりも小さな外径を有する第２軸部と、第１軸部内に第２軸部がスライド自在に挿入され、第１軸部と第２軸部とを連結する連結部とを備えたことを特徴とする三脚。
【請求項２】
前記連結部は、第１軸部の端部に設けられて第２軸部を挿通可能とする雄部材と、雄部材が挿入される雌部材とを備え、
前記雄部材に、雌部材を相対的に移動させる可動部と、第２軸部を締め付けて固定する軸部固定部とを設け、
前記雌部材に、雄部材を相対的に移動させる可動部と、雄部材及び雌部材の相対的な移動により、前記軸部固定部に締め付け力を付与する締付部とを設けたことを特徴とする請求項１に記載の三脚。
【請求項３】
前記雄部材の軸部固定部は、外径面が先端に向かって縮径するテーパ部を有するとともにスリットが設けられ、雄部材と雌部材とが接近することにより、前記テーパ部が雌部材の内径面から内径方向の押圧力が付与されて前記軸部固定部が縮径することを特徴とする請求項２に記載の三脚。
【請求項４】
前記第２軸部に、前記雄部材の内径が最小となる部分の直径よりも大きな外径を有する抜け止め部を設けたことを特徴とする請求項２又は請求項３に記載の三脚。